

購読のお願い

毎月1回 15日発行
1部 30円 (+送料60円)
10部以上の場合は送料当方負担
(お申し込みは全地婦連事務局へ)



National Federation Of Regional Women's Organizations

全地婦連

編集・発行

全国地域婦人団体連絡協議会

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-17-7
全国婦人会館内

電話 03-3407-4303(代)

http://www.chifuren.gr.jp

頌春

新しい年が穏やかな
日々でありますように



新春を迎えた亀戸天神 (東京都江東区)

未来を見すえて 確かな歩みを

全地婦連会長(京都)

中 畔 都 舎 子



男女平等社会の実現をめざす世界的な活動は「平等・発展・平和」を目標にした「国際婦人の10年」を経て前進したものの現状はどうでしょうか。

長い歴史の中で形成された「男は仕事、女は家庭」といわれたきた伝統的な社会慣習に甘んじてきた女性たちが、1948年に国連が提唱した世界人権宣言「性による差別の否定」を契機として、真の

なぜ平等というスローガンは掛け声倒れなのか、その後には新しい価値観を身につけている女性陣と昔の鏡に身を固めた男性陣の間の価値観のギャップや新たな社会システムへの転換の遅れなどがある。

そして今を生きる私たちが未来に向けて、男女が平等に人間らしく生きられる新たな役割を創造するため、全地婦

ると思われます。

2005年暮れ、改訂作業中だった第2次男女共同参画社会基本計画が閣議決定されました。今後は、各都道府県の基本計画も後進しないようさらに強固な取り組みを進めてくださいますようお願いいたします。

男女共同参画の さらなる推進の年に

内閣府特命担当大臣(少子化・男女共同参画担当)

猪 口 邦 子



新年明けましておめでとう
ございます。

全国地域婦人団体連絡協議会の皆さまにおかれましては、男女共同参画の推進をはじめとする「暮らしの構造改革」に関する諸課題にご尽力

いたしておることを、心から感謝申し上げます。

昨年末、政府は第2次男女共同参画基本計画を決定しました。新計画には、時代の声に耳を傾け、本当に必要な効果的な施策を盛り込むよう努力し、仕事と家庭の両立支援、科学技術や防災等の新たな分野への取り組み等をその内容としました。また「社会的性別」(ジェンダー)について、明確な定義を置き、正しい理

解の促進を図るものとして、

今年、新計画が実質的にスタートする年です。施策の実施にあたり、本年が男女共同参画社会の実現に向けて力強く前進する年となるよう決意を新たにすることが大切です。また、同じく昨年末、女性の再就職等を支援するための「女性の再チャレンジ支援プラン」を策定しました。本プランに基づき、出産後のカム

バック支援等を充実し、女性が再び活躍できる環境を整えてまいります。
男女共同参画会議の調査によると、女性が働きやすい国では出生率が高いという傾向があります。少子化対策では「産めよやませよ」の復古論ではなく、男女共同参画に基づく施策を推進する必要があります。さらに、男性も含めた働き方の見直しなど、「認識の構造改革」が必要です。女性の役割も、希望にそった生き方を選べる社会が望まれています。私はそのためにも働く大臣でありたいと思っております。皆さまのご支援・ご協力を改めてお願い申し上げます。

今月号の主な記事

- 2~3面 全理事から新年のごあいさつ
- 4面 四国ブロック会議/地域婦人会・女性会の活動(山口県)/「農山漁村女性の日」記念行事/ちふれ化粧品

連として確かな歩みを続けてまいります。